

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	東海財務局長
【提出日】	平成24年11月13日
【四半期会計期間】	第35期第2四半期（自平成24年7月1日至平成24年9月30日）
【会社名】	株式会社中京医薬品
【英訳名】	CHUKYOIYAKUHIN CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 山田 正行
【本店の所在の場所】	愛知県半田市亀崎北浦町二丁目15番地の1
【電話番号】	0569(29)0202(代表)
【事務連絡者氏名】	専務取締役 辻村 誠
【最寄りの連絡場所】	愛知県半田市亀崎北浦町二丁目15番地の1
【電話番号】	0569(29)0202(代表)
【事務連絡者氏名】	専務取締役 辻村 誠
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 (大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第34期 第2四半期 累計期間	第35期 第2四半期 累計期間	第34期 事業年度
会計期間	自平成23年 4月1日 至平成23年 9月30日	自平成24年 4月1日 至平成24年 9月30日	自平成23年 4月1日 至平成24年 3月31日
売上高(千円)	3,225,094	3,010,598	6,124,457
経常利益(千円)	74,222	76,381	41,516
四半期(当期)純利益(千円)	20,871	29,351	187,161
持分法を適用した場合の投資利益(千円)	-	-	-
資本金(千円)	530,950	530,950	530,950
発行済株式総数(千株)	10,785	10,785	10,785
純資産額(千円)	2,245,049	2,408,971	2,389,304
総資産額(千円)	5,241,802	4,731,415	5,158,543
1株当たり四半期(当期)純利益(円)	2.07	2.89	18.51
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益(円)	-	-	-
1株当たり配当額(円)	2.50	2.50	5.00
自己資本比率(%)	42.8	50.9	46.3
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	95,833	16,601	146,945
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	16,450	6,327	892,601
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	54,462	485,176	237,660
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円)	676,032	809,768	1,317,873

回次	第34期 第2四半期 会計期間	第35期 第2四半期 会計期間
会計期間	自平成23年 7月1日 至平成23年 9月30日	自平成24年 7月1日 至平成24年 9月30日
1株当たり四半期純損失( )(円)	2.47	0.88

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、連結会計年度にかかる主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 第34期第2四半期累計期間、第35期第2四半期累計期間及び第34期事業年度の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第2四半期累計期間において、当社が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第2四半期累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。  
また前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

## 2【経営上の重要な契約等】

該当事項はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第2四半期累計期間における我が国の経済は、東日本大震災の復興関連需要などを背景に設備投資に持ち直しの動きがみられ、緩やかな回復傾向にある一方、欧州債務危機の再燃、夏場の電力不足も懸念されるなど、先行きの不透明感は依然として払拭できない状況にあります。

このような環境の中で、当社は「もっと健康、ずっと幸せ。」を企業スローガンとして定め、お客様が心身共に健康で幸せな社会生活を営むことに貢献し続けていくことを使命として捉え、より一層お客様に「健康」と「幸福」をお届けできる企業を目指すために邁進してまいりました。また、お客様本位の営業を徹底し営業効率の向上と販売管理費削減による財務基盤の強化にも取り組みました。

家庭医薬品等販売事業におきましては、前々期の営業所統廃合により効率的となった営業体制と強固な財務基盤を維持継続しつつ、中期経営計画に基づき利益を重視した新たな経営戦略を推進してまいりました。

またアクアマジック事業部で展開いたしております売水事業につきましても、これまでのリターナブルボトルの拡大に加え、今期4月よりボトルの回収が不要なOne-Way方式の稼働が始まり、全国展開による営業エリア拡大と顧客数の増加など事業拡大に努めました。

その結果、当第2四半期累計期間における売上高は3,010百万円（前年同期比6.7%減）、営業利益は75百万円（前年同期比1.1%増）、経常利益は76百万円（前年同期比2.9%増）、また四半期純利益は29百万円（前年同期比40.6%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

家庭医薬品等販売事業（小売部門・卸売部門）におきまして、小売部門においては、長引く景気停滞による個人消費の低迷や営業人員の増員が思うように進まなかったこと等により、売上高は減少しました。卸売部門においては、エアーマスクなどの新規取引の開拓に注力し明るい兆しが見え始めました。また営業効率は改善し販売費及び一般管理費の削減効果はありましたが、9月から大手量販店やドラッグストア等に幅広く投入されるエアーマスクなどの商品の販売促進費が上期に先行して発生したためセグメント利益も前期に比べ減少となりました。その結果売上高は2,751百万円（前期同期比7.9%減）、セグメント利益58百万円（前期同期比17.6%減）となりました。

売水事業部門におきましては、昨今の健康志向ブームによる飲料水へのこだわりと、拡大するミネラルウォーター宅配市場の成長の波に乗り、早期に中核事業の1つとして確立することを目指してまいります。また今期よりOne-Way方式の導入により営業エリアが拡大され稼働を開始いたしました。その結果売上高は254百万円（前期同期比10.0%増）、セグメント利益16百万円（前期同期比359.1%増）となりました。

#### (2) 財政状態の分析

当第2四半期会計期間末における総資産は4,731百万円となり、前事業年度末に比べ427百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金の減少507百万円、受取手形及び売掛金の増加106百万円によるものであります。

負債の部は2,322百万円となり、前事業年度末に比べ446百万円減少いたしました。これは主に短期借入金の減少370百万円、1年内返済予定の長期借入金の減少59百万円によるものであります。

純資産の部は2,408百万円となり、前事業年度末に比べ19百万円増加いたしました。これは主に自己株式の減少17百万円、利益剰余金の減少4百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は、前事業年度末の46.3%から50.9%となりました。

#### (3) キャッシュ・フロー及び、資本の源泉及び資金の流動性に係る情報

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、809百万円（前年同期比19.8%増）となりました。当第2四半期累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。なお、資金の源泉及び流動性に係る情報として追加して記載すべき事項はありません。

##### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果減少した資金は16百万円（前年同四半期は95百万円の減少）となりました。これは主に、売上債権の増加額106百万円、税引前四半期純利益66百万円及び減価償却費31百万円によるものであります。

##### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果減少した資金は6百万円（前年同四半期は16百万円の増加）となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入19百万円及び定期預金の預入による支出19百万円によるものであります。

##### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果減少した資金は485百万円（前年同四半期は54百万円の減少）となりました。これは主に、短期借入金の純減少額370百万円、長期借入金の返済による支出89百万円及び配当金の支払額25百万円によるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期累計期間において、当社が対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

(6) 経営成績に重要な影響を与える要因及び経営戦略の状況と見通し

該当事項はありません。

(7) 資本の財源及び資金の流動性についての分析

当社の運転資金需要のうち主なものは、仕入及び全国に営業所展開をしている労働集約型の業態であることから人件費、車輛運行費、賃借料等の販売費及び一般管理費によるものであります。

また運転資金は主に営業活動から生ずるキャッシュ・フローにより賅っておりますが、賞与支払や設備投資資金の調達には必要に応じて金融機関からの借入を行っております。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	25,000,000
計	25,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成24年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成24年11月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	10,785,734	10,785,734	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数100株
計	10,785,734	10,785,734	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (千株)	発行済株式総 数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成24年7月1日～ 平成24年9月30日	-	10,785	-	530,950	-	274,115

(6) 【大株主の状況】

平成24年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数 に対する所有株式 数の割合(%)
山田 正行	愛知県半田市	1,352	12.54
有限会社ヤマショー	愛知県半田市亀崎月見町1丁目116-1	1,121	10.39
山田 幸男	愛知県知多郡東浦町	1,062	9.85
山田 雄三	愛知県半田市	767	7.11
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社(信託口)	東京都中央区晴海1丁目8-11	365	3.39
中京医薬品従業員持株会	愛知県半田市亀崎北浦町2丁目15-1	323	2.99
株式会社三菱東京UFJ銀行	東京都千代田区丸の内2丁目7番1号	224	2.07
山田 重子	愛知県半田市	163	1.51
中京医薬品取引先持株会	愛知県半田市亀崎北浦町2丁目15-1	152	1.41
山田 正人	愛知県半田市	145	1.35
計	-	5,678	52.64

(注) 1. 上記の他、自己株式が225千株ありますが、明細より除いております。なお、自己株式数には、従業員持株会信託口が保有する当社株式365千株を含んでおりません。

2. 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)は、従業員持株会信託における再信託先であります。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成24年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 590,700	-	単元株式数100株
完全議決権株式(その他)	普通株式 10,149,700	101,497	同上
単元未満株式	普通株式 45,334	-	-
発行済株式総数	10,785,734	-	-
総株主の議決権	-	101,497	-

【自己株式等】

平成24年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数 に対する所有株式 数の割合(%)
株式会社中京医薬品	愛知県半田市亀崎北浦町 2丁目15-1	225,000	365,700	590,700	5.47
計	-	225,000	365,700	590,700	5.47

(注) 他人名義で所有している理由等

所有理由	名義人の氏名又は名称	名義人の住所
「株式給付信託(J-E S O P)」 制度の信託財産として拠出	日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社	東京都中央区晴海1丁目8-11

2 【役員の状況】

該当事項はありません。



## 第4【経理の状況】

### 1．四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第63号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期会計期間（平成24年7月1日から平成24年9月30日まで）及び第2四半期累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）に係る四半期財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

### 3．四半期連結財務諸表について

当社は子会社がありませんので、四半期連結財務諸表を作成しておりません。

1【四半期財務諸表】  
(1)【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,478,588	971,083
受取手形及び売掛金	438,069	544,823
商品及び製品	350,456	339,750
委託商品	421,825	428,955
仕掛品	133	120
原材料及び貯蔵品	18,509	38,672
その他	295,643	201,979
貸倒引当金	11,224	13,927
流動資産合計	2,992,002	2,511,457
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	462,536	452,741
土地	1,226,855	1,226,855
その他(純額)	55,440	66,180
有形固定資産合計	1,744,833	1,745,776
無形固定資産	47,685	48,131
投資その他の資産		
その他	388,284	440,304
貸倒引当金	14,261	14,254
投資その他の資産合計	374,022	426,050
固定資産合計	2,166,541	2,219,958
資産合計	5,158,543	4,731,415
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	508,581	517,484
短期借入金	890,000	520,000
1年内返済予定の長期借入金	161,628	101,832
未払法人税等	10,759	12,368
賞与引当金	162,000	130,000
返品引当金	4,276	5,438
その他	410,033	421,347
流動負債合計	2,147,280	1,708,471
固定負債		
長期借入金	138,210	108,233
退職給付引当金	131,511	135,074
役員退職慰労引当金	309,460	315,820
資産除去債務	4,338	4,381
その他	38,439	50,462
固定負債合計	621,959	613,972
負債合計	2,769,239	2,322,444

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	530,950	530,950
資本剰余金	274,115	274,115
利益剰余金	1,861,712	1,857,168
自己株式	269,446	251,645
株主資本合計	2,397,330	2,410,587
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	8,026	1,616
評価・換算差額等合計	8,026	1,616
純資産合計	2,389,304	2,408,971
負債純資産合計	5,158,543	4,731,415

(2)【四半期損益計算書】  
【第2四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	3,225,094	3,010,598
売上原価	1,124,663	1,056,219
売上総利益	2,100,431	1,954,378
販売費及び一般管理費	2,025,696	1,878,843
営業利益	74,734	75,534
営業外収益		
受取利息	249	175
受取配当金	852	830
受取家賃	8,796	6,187
保険解約返戻金	6,112	2,031
その他	3,483	2,787
営業外収益合計	19,495	12,013
営業外費用		
支払利息	8,003	3,111
支払手数料	10,500	7,965
その他	1,503	89
営業外費用合計	20,007	11,166
経常利益	74,222	76,381
特別利益		
投資有価証券売却益	696	-
その他	54	-
特別利益合計	750	-
特別損失		
固定資産除却損	64	-
減損損失	717	-
投資有価証券評価損	13,695	10,338
災害による損失	5,611	-
その他	80	-
特別損失合計	20,167	10,338
税引前四半期純利益	54,805	66,043
法人税、住民税及び事業税	7,683	7,406
法人税等調整額	26,250	29,285
法人税等合計	33,933	36,691
四半期純利益	20,871	29,351

## (3)【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	54,805	66,043
減価償却費	31,329	31,352
減損損失	717	-
貸倒引当金の増減額(は減少)	139	2,695
退職給付引当金の増減額(は減少)	62	3,563
賞与引当金の増減額(は減少)	45,000	32,000
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	16,490	6,360
受取利息及び受取配当金	1,102	1,006
支払利息	8,003	3,111
固定資産処分損益(は益)	64	-
投資有価証券売却損益(は益)	616	-
投資有価証券評価損益(は益)	13,695	10,338
売上債権の増減額(は増加)	56,901	106,753
たな卸資産の増減額(は増加)	17,950	16,573
仕入債務の増減額(は減少)	14,204	8,903
その他	44,470	16,319
小計	59,633	7,646
利息及び配当金の受取額	1,021	922
利息の支払額	8,003	3,111
法人税等の支払額	29,217	6,765
営業活動によるキャッシュ・フロー	95,833	16,601
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	22,200	19,800
定期預金の払戻による収入	26,400	19,200
有形固定資産の取得による支出	3,532	8,388
投資有価証券の売却による収入	3,216	-
貸付金の回収による収入	420	882
その他	12,146	1,778
投資活動によるキャッシュ・フロー	16,450	6,327
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(は減少)	59,300	370,000
長期借入れによる収入	298,500	-
長期借入金の返済による支出	263,015	89,772
リース債務の返済による支出	6,884	9,309
自己株式の取得による支出	27	6
自己株式の売却による収入	1,510	9,294
配当金の支払額	25,247	25,382
財務活動によるキャッシュ・フロー	54,462	485,176
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	133,846	508,104
現金及び現金同等物の期首残高	809,878	1,317,873
現金及び現金同等物の四半期末残高	676,032	809,768

【会計方針の変更】

(減価償却方法の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

【注記事項】

(四半期貸借対照表関係)

四半期会計期間末日満期手形

四半期会計期間末日満期手形の会計処理については、当四半期会計期間末日が金融機関の休日でしたが、満期日に決済が行われたものとして処理しております。当四半期会計期間末日満期手形の金額は、次のとおりであります。

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年9月30日)
受取手形	13,999千円	11,069千円
支払手形	133,601	132,079

(四半期損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
給料及び手当	973,060千円	903,942千円
貸倒引当金繰入額	2,743	3,463
役員退職慰労引当金繰入額	8,200	6,360
賞与引当金繰入額	147,655	128,088
退職給付費用	22,815	22,183

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
現金及び預金勘定	859,070千円	971,083千円
預入期間が3か月を超える定期預金	183,038	161,315
現金及び現金同等物	676,032	809,768

(株主資本等関係)

前第2四半期累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月29日 定時株主総会	普通株式	25,247	2.5	平成23年3月31日	平成23年6月30日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年11月11日 取締役会	普通株式	26,402	2.5	平成23年9月30日	平成23年12月6日	利益剰余金

(注) 配当金の総額には、日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)に対する配当金1,138千円を含んでおります。

2. 株主資本の著しい変動に関する事項

平成23年5月20日開催の取締役会決議により、会社法第178条の規定に基づき、平成23年5月31日付で自己株式600,000株を消却いたしました。これにより、利益剰余金及び自己株式が255,606千円減少しております。

当第2四半期累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月22日 定時株主総会	普通株式	26,401	2.5	平成24年3月31日	平成24年6月25日	利益剰余金

(注) 配当金の総額には、日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)に対する配当金1,019千円を含んでおります。

(2) 基準日が当第2四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年11月13日 取締役会	普通株式	26,401	2.5	平成24年9月30日	平成24年12月10日	利益剰余金

(注) 配当金の総額には、日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)に対する配当金914千円を含んでおります。

(持分法損益等)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	四半期損益計算書計上額 (注)2
	家庭医薬品等販売事業		売水事業部門	計		
	小売部門	卸売部門				
売上高						
外部顧客への売上高	2,401,245	587,111	231,303	3,219,660	5,434	3,225,094
計	2,401,245	587,111	231,303	3,219,660	5,434	3,225,094
セグメント利益	48,806	22,226	3,702	74,734	-	74,734

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含んでいない事業セグメントであり、保険事業部門等を含んでおります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「小売部門」セグメントにおいて、八戸営業所の減損損失717千円を計上しております。

当第2四半期累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	四半期損益計算書計上額 (注)2
	家庭医薬品等販売事業		売水事業部門	計		
	小売部門	卸売部門				
売上高						
外部顧客への売上高	2,179,652	572,206	254,427	3,006,286	4,312	3,010,598
計	2,179,652	572,206	254,427	3,006,286	4,312	3,010,598
セグメント利益 又は損失( )	62,078	3,539	16,995	75,534	-	75,534

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含んでいない事業セグメントであり、保険事業部門等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当該事項はありません。



( 1 株当たり情報 )

1 株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第 2 四半期累計期間 ( 自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月30日 )	当第 2 四半期累計期間 ( 自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日 )
1 株当たり四半期純利益金額	2円7銭	2円89銭
( 算定上の基礎 )		
四半期純利益金額 ( 千円 )	20,871	29,351
普通株主に帰属しない金額 ( 千円 )	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額 ( 千円 )	20,871	29,351
普通株式の期中平均株式数 ( 千株 )	10,099	10,173

( 注 ) 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

( 重要な後発事象 )

該当事項はありません。

2 【その他】

1 . 当社は、平成24年11月13日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

( イ ) 中間配当による配当金の総額.....26,401千円

( ロ ) 1 株当たりの金額..... 2 円50銭

( ハ ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日.....平成24年12月10日

( 注 ) 1 . 平成24年 9 月30日現在の株主名簿及び実質株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。

2 . 配当金の総額には、日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 ( 信託口 ) に対する配当金914千円を含んでおります。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年11月12日

株式会社中京医薬品  
取締役会御中

### 有限責任あずさ監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 木造眞博 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 鈴木賢次 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社中京医薬品の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの第35期事業年度の第2四半期会計期間（平成24年7月1日から平成24年9月30日まで）及び第2四半期累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書、四半期キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社中京医薬品の平成24年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- 
- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれておりません。